

【問1】

2007年に実施された文化庁の国語に関する世論調査で「ボランティア」の認知度、理解度、使用度は、どのような結果であったか。正しいものを1つ選びなさい。

- A すべて8割以上であった
- B すべて6割程度であった
- C すべて4割程度であった
- D すべて2割以下であった

- ①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|------|---|---|---|---|
| 問1の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|------|---|---|---|---|

【問2】

「ボランティア」という言葉に関する説明として、間違っているものを1つ選びなさい。

- A 英語ではvolunteerと表記する
- B ラテン語のvolloを起源とする
- C 「犠牲的に献身する」という意味がある
- D 英語のwillに符合する言葉である

- ①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|------|---|---|---|---|
| 問2の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|------|---|---|---|---|

【問3】

次のAとBの文の正誤の組み合わせとして、適切なものを1つ選びなさい。

- A 奈良時代の僧・行基はボランティアリーダーの一人と見ることができる
- B セツルメント運動とは、募金活動を中心に弱者救済を目指した活動である

- ①AもBも正しい
- ②AもBも間違っている
- ③Aは正しいがBは間違い
- ④Aは間違っているがBは正しい

| | | | | |
|------|---|---|---|---|
| 問3の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|------|---|---|---|---|

【問4】

「ボランティア活動」の説明として、適切な正誤の組み合わせを1つ選びなさい。

- A 自発的に行われるものは、すべて「ボランティア活動」と言ってよい
- B 自発的でなくても、人の役に立つことをする場合は、「ボランティア活動」の範疇にはいる
- C 自分の家族が抱える問題解決から始めた活動であっても、その活動を広く一般に開くことで「ボランティア活動」になる
- D 無償で行われる活動は、すべて「ボランティア活動」と言ってよい

- ① $\begin{matrix} A & B & C & D \\ \text{○} & \times & \times & \times \end{matrix}$ ② $\begin{matrix} A & B & C & D \\ \times & \times & \text{○} & \times \end{matrix}$ ③ $\begin{matrix} A & B & C & D \\ \times & \text{○} & \times & \text{○} \end{matrix}$ ④ $\begin{matrix} A & B & C & D \\ \times & \times & \text{○} & \text{○} \end{matrix}$

| | | | | |
|------|---|---|---|---|
| 問4の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|------|---|---|---|---|

【問5】

ボランティアのキー概念の組み合わせとして、適切なものを1つ選びなさい。

- A 強制性・社会性・無償性
- B 自発性・社会性・有償性
- C 強制性・政治性・有償性
- D 自発性・社会性・無償性

①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|------|---|---|---|---|
| 問5の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|------|---|---|---|---|

【問6】

比較的軽微な罪を犯した場合に無償の労役で罪を償わせる判決が言い渡されることがある。英語圏では、この種の刑罰を何と呼ぶか、適切なものを1つ選びなさい。

- A community work
- B volunteer work
- C service learning
- D community service

①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|------|---|---|---|---|
| 問6の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|------|---|---|---|---|

【問7】

ボランティア活動と奉仕活動に関する以下の記述のなかで、適切なものはいくつあるか答えなさい。

- A ボランティア活動と奉仕活動はまったく同じ意味である
- B 奉仕活動は自発的でない場合もあるが、ボランティア活動は自発的に取り組まれるものをさす
- C 奉仕の英語にあたる言葉は、サービス (service) である
- D ボランティア活動は奉仕活動に比べて社会変革性の強いものが多い

①1つ ②2つ ③3つ ④4つ

| | | | | |
|------|---|---|---|---|
| 問7の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|------|---|---|---|---|

【問8】

ボランティア活動とお金の関係についての記述として、間違っているものの組み合わせを答えなさい。

- A 活動にかかった交通費を依頼者 (団体) からもらっても、一般的に無償の活動の範囲にはいる
- B 時給として報酬をもらっても、その金額が低ければ、ボランティア活動の範疇にはいる
- C ボランティア活動は無償なので、活動にかかった経費の支給を受けることもふさわしくない
- D 活動にかかった交通費などの経費を支給される場合は、「有償ボランティア」となる

①AB ②ABC ③BCD ④BC

| | | | | |
|------|---|---|---|---|
| 問8の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|------|---|---|---|---|

【問 9】

文中の空所（ イ ）（ ロ ）に入る語句の組み合わせとして、正しいものを 1 つ選びなさい。

いわゆる「有償ボランティア」に関する議論の過程で、全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センターでは、1987 年「（ イ ）を超えた報酬を得る活動はボランティア活動とは呼ばない」との見解をまとめる一方、有料サービス、有償ヘルパー、会員制（互助性）の 3 つの特徴をもつ在宅ケアグループに対して「（ ロ ）団体という呼称をつかい、ボランティア活動とは用語を区別した。

- | イ | ロ |
|--------|---------------|
| A 実費弁償 | 有償型福祉ボランティア |
| B 実費弁償 | 住民参加型在宅福祉サービス |
| C 限界 | 有償型福祉ボランティア |
| D 限界 | 住民参加型在宅福祉サービス |

- ① A ② B ③ C ④ D

| | | | | |
|--------|---|---|---|---|
| 問 9 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|--------|---|---|---|---|

【問 10】

いわゆる「有償ボランティア」の危険性についての記述として、適切なものはいくつあるか答えなさい。

- A 場合によっては、最低賃金法などに反する不当労働行為を正当化することにもなりかねない
- B 「有償ボランティア」活動は、通常のボランティア保険では対応されないことがある
- C 「ボランティア」という言葉を使うことによって、アルバイトよりも低い条件で確保することが可能となり、人件費圧縮に利用されることがある
- D 社会保障費が過度に圧縮されるなどの問題が、「有償ボランティア」の活動によって表面に現れにくくなる面もある

- ① 1 つ ② 2 つ ③ 3 つ ④ 4 つ

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 10 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 11】

ボランティア活動のもつ意味に関する記述として、適切なものはいくつあるか答えなさい。

- A ボランティア一人ひとりがもつユニークな経験や専門性がいかされると、有給職員だけで取り組むより数倍の成果を生み出すことがある
- B ボランティア活動を行うことにより、社会的な役割を得て、自分自身の自己実現の機会が得られる
- C 困難に直面している人や社会の不公正などに気づき、その解決のために積極的に努力する「ボランティア」という存在がいることによって、社会全体としての問題解決力が高まる
- D ボランティアの前例や規則にとらわれない自由な発想によって、先駆的・開拓的な取り組みが生まれることがある

- ① 1 つ ② 2 つ ③ 3 つ ④ 4 つ

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 11 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問12】

ボランティア活動の特長として、適切ではないものを1つ選びなさい。

- A 公平性
- B 対応の速さ（機動性）
- C 個々に応じた対応
- D 多彩さ、多元性

①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問12の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問13】

ボランティアと行政の関係についての記述として、適切なものはいくつあるか答えなさい。

- A ボランティアは行政サービスの穴埋め的な存在である
- B 公立の施設にはボランティアは必要ない
- C 行政は公平が大原則だが、ボランティアは対象を選んで活動してもかまわない
- D 行政はボランティア（団体）を指導監督する役割がある

①1つ ②2つ ③3つ ④4つ

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問13の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問14】

次のできごとを歴史的な順番（古い順）に並べたとき、正しいものはどれか選びなさい。

- A 大阪ボランティア協会が発足する
- B ボランティア活動保険が生まれる
- C BBS（Big Brothers and Sisters）運動が京都で始まる
- D 企業のフィランソロピー（社会貢献）ブームが広がる

①A→C→B→D
 ②A→B→C→D
 ③C→A→B→D
 ④C→B→A→D

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問14の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問15】

1990年代のボランティア活動の状況について、間違っているものを1つ選びなさい。

- A 企業によるフィランソロピー（社会貢献）活動が広がった
- B 生涯学習審議会においてボランティア活動の推進策がまとめられた
- C 特定非営利活動促進法（通称：NPO法）が成立した
- D 青年海外協力隊が発足した

①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問15の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問16】

国連が「ボランティア国際年」として定めた年はいつか答えなさい。

- A 1995年（平成7年）
- B 2001年（平成13年）
- C 2005年（平成17年）
- D 2010年（平成22年）

①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問16の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問17】

「ボランティア活動は恋愛と似ている」といわれる場合、その理由として適切でないものを1つ選びなさい。

- A ともに対象を選べる
- B とともに公共的な性格をもっている
- C とともに出会いは偶然によるところが多い
- D とともに自分だけが満足するようではいけない

①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問17の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問18】

ボランティア活動に関する以下の記述の中で、適切なものはいくつあるか答えなさい。

- A 自治会の役員などの活動はお付き合いですのものであり、多少意欲的に活動してもボランティアとは言えない
- B ボランティア活動は他者の暮らしをサポートする活動であり、政策を批判したり、新たな制度創設を要求する活動は含まれない
- C 行政から委嘱を受けて活動する民生委員や保護司は、独立した活動ではないのでボランティアとは言えない

①3つ ②2つ ③1つ ④1つもない

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問18の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問19】

ボランティアとNPOの関係についての記述として、間違っているものはいくつあるか選びなさい。

- A 多くのNPOでは、理事などの役員のほとんどは無給のボランティアである
- B NPOの構成員はすべてボランティアである
- C NPOはボランティアが経営に参画する組織である
- D ボランティアグループはNPOに含まれる

①1つ ②2つ ③3つ ④4つ

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問19の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問20】

2009年6月末現在、日本における特定非営利活動法人（通称：NPO法人）の認証数は次のどれに最も近いか答えなさい。

- A 18,000
- B 28,000
- C 38,000
- D 48,000

- ①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問20の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問21】

文中の空所（イ）（ロ）に入る語句の組み合わせとして正しいものを1つ選びなさい。

NPOの非営利組織としての性格を示すものとして、利益が出ても、それを（イ）で配分せず、全額を次年度以降の（ロ）に活用する団体であること、とされている。

- | イ | ロ |
|-------|-------|
| A 構成員 | 事業資金 |
| B 構成員 | 職員の賞与 |
| C 役員 | 事業資金 |
| D 役員 | 職員の賞与 |

- ①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問21の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問22】

NPOとNGOに関する記述について、正しいものを選びなさい。

- A NPOは非営利組織の意味なので、地方自治体は含まれる
- B NGOは非政府組織の意味なので、企業は含まれる

- ①AもBも正しい
- ②Aは正しいがBは間違っている
- ③Bは正しいがAは間違っている
- ④AもBも間違っている

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問22の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問23】

社会を構成する3つのセクターの行動原理の組み合わせとして、適切なものを1つ選びなさい。

- | |
|-------------|
| イ 民間非営利セクター |
| ロ 政府セクター |
| ハ 営利セクター |

- | |
|----------------------------|
| 1 交換原理（ギブ&テイク、等価交換） |
| 2 共感原理（正義実現、ないしは好感、共感の気持ち） |
| 3 公平・平等原理（本質的に一律的・画一的） |

- A イー1 ロー2 ハー3
 B イー3 ロー1 ハー2
 C イー3 ロー2 ハー1
 D イー2 ロー3 ハー1

- ①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問23の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問24】

ボランティア活動の参加には大きく2つのバリアがあると言われる。2つの組み合わせとして正しいものを1つ選びなさい。

- | | |
|------------|--------|
| A 宇宙のバリア | 情報のバリア |
| B 感動のバリア | 評価のバリア |
| C イメージのバリア | 情報のバリア |
| D イメージのバリア | 評価のバリア |

- ①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問24の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問25】

ボランティア活動には、自発的であるがゆえに弱点や課題もある。その記述として正しいものがいくつあるか答えなさい。

- A 介護など基本的人権に関わることを「保障」することは難しい
 B 自己満足や独りよがりの活動になる危険性がある
 C 全体状況の見極めができず、支援全体のバランスを崩すことがある
 D 自分の活動を「正しいこと」「善行」と思いすぎると、違う動きを排除しやすくなる

- ①1つ ②2つ ③3つ ④4つ

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問25の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問26】

コーディネーション機能が必要になった背景として、正しい記述がいくつあるか選びなさい。

- A 情報量は増えたが、必要な情報収集がむずかしくなった
- B 専門分化が進み、全体を見渡せなくなった
- C 暮らしの機能が細分化して、ニーズへの対応が難しくなった
- D 強い個人が増えて、社会保障や社会福祉のニーズは減少した

- ①1つ ②2つ ③3つ ④4つ

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問26の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問27】

文中の空所（イ）（ロ）（ハ）（ニ）に入る語句の組み合わせとして適切なものを1つ選びなさい。

仲間づくりを進めようとする、どうしても（イ）の追求という側面がでてきます。外国人、ホームレス、障害者、認知症高齢者など、（ロ）の対象になりやすい人々に対し、共に生きる社会づくりをしていくことが現代社会の大きな課題となっています。（ハ）を認め合ったうえで、いかに（ニ）を作るかという点で、「コーディネーション」という考え方やスキルが重要な鍵になってきているのです。

- | | | | | |
|---|-----|-------|-----|-------|
| | イ | ロ | ハ | ニ |
| A | 多様性 | 社会的排除 | 同質性 | つながり |
| B | 同質性 | つながり | 多様性 | 社会的排除 |
| C | 多様性 | つながり | 同質性 | 社会的排除 |
| D | 同質性 | 社会的排除 | 多様性 | つながり |

- ①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問27の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問28】

以下の中で、コーディネーション機能と言えないものを1つ選びなさい。

- A 組み合わせる
- B つながる
- C 同格にする
- D 指導する

- ①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 問28の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|-------|---|---|---|---|

【問 29】

「コーディネーション」の 2 つの意味を表す記述として、正しい組み合わせを 1 つ選びなさい。

- A 場の空気を読み、なごやかにする
- B 各々の要素を対等にする
- C 上下の関係を固定化する
- D 調整して全体の調和を生み出す

① AB ② BD ③ BC ④ AC

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 29 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 30】

「市民社会」を構築し活性化させるためのポイントとして、正しいものはいくつあるか答えなさい。

- A 市民が主人公であること
- B 市民が作る組織が元気であること
- C 市民あるいは市民が作る組織同士、協働できること
- D 市民が作り組織と企業・政府（行政）が協働できること

① 1 つ ② 2 つ ③ 3 つ ④ 4 つ

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 30 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 31】

市民社会においてコーディネーション機能が重要である理由についての以下の記述のうち、間違っているものの組み合わせを 1 つ選びなさい。

- A 人と人とのつながりが弱まっている現代社会においては、つながりの再構築が求められている。しかし、生活様式や仕事の形態がかつてと変化しているため、人と人、とくに通常出会う機会がないような人同士のつながりを作っていくためには、意図的な働きかけが必要となっている。
- B 長引く不況の影響で、自治体の財政状況はますます厳しくなっている。住民の安定した暮らしを守るためにも、持続可能な自治体運営が求められている。そこで、市民参加が重要視されてきている。行政機関の運営にボランティアが多数参加することで職員数を減少させることが急務となっている。
- C 日本で暮らす外国人が増えている現在、多文化共生社会の実現が求められている。外国人が排除されないようにするためには、少しでも早く日本の文化に慣れ、言語を習得する必要がある。そこで、日本語や日本の文化・風習に同化させるための機会づくりが求められている。
- D 地域コミュニティの重要性が指摘されているが、現実には自治会加入率の低下や活動参加者の減少、役員のなり手不足などが起きている。そこで、より多くの人が関心をもち、参加が促進されるような工夫が様々な地域活動の場面で求められている。

① AB ② BC ③ BD ④ CD

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 31 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 32】

市民社会づくりと「コーディネーション」の関係について〇〇に当てはまらないものを 1 つ選びなさい。

「異なる〇〇がつながり、新たなものを生み出すこと」

- A 専門性
- B 権力
- C 施策
- D 団体

①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 32 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 33】

市民社会づくりにおいて、コーディネーション機能が発揮される場として正しいものはいくつあるか答えなさい。

- A 市民と公共施設
- B ボランティアと有給職員
- C NPOと企業
- D 同じ地域コミュニティに暮らす住民同士

①1つ ②2つ ③3つ ④4つ

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 33 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 34】

ボランティアコーディネーションに関する以下の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- A ボランティアコーディネーションへの理解は幅広く必要であるが、実践が求められるのは、ボランティアセンターや市民活動センターなど中間支援組織の職員に限られている
- B ボランティアコーディネーションへの理解は幅広く必要であるが、実践が求められるのは、ボランティアと協働している組織に限られている
- C ボランティアコーディネーションの理解も実践も幅広い分野や組織、場面で必要とされている
- D ボランティアコーディネーションの実践には専門性が必要であるため、限られた層の人々にその役割が期待される

①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 34 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 35】

ボランティアコーディネーションについての記述として、間違っているものを 1 つ選びなさい。

- A ボランティアコーディネーションとは、ニーズ（需要）にボランティア（供給）を適合させるテクニックのことである
- B ボランティアコーディネーションは市民社会づくりを目的として行われる働きである
- C ボランティアコーディネーションを行うには、ボランティアについての正しい理解や知識、情報が必要である
- D ボランティアコーディネーションは市民社会づくりの様々なアプローチの中で、とくにボランティアに焦点をあてて取り組まれる

①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 35 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 36】

以下の記述の中で、ボランティアコーディネーション機能として適切なものはいくつあるか答えなさい。

- A 両者の対等な関係をつくり出すことで、ボランティアが職員に代われるようにする
- B 組織内の人や部署の役割分担をなくし、みんなが同じようなはたらきができるようにする
- C 総合力や新たな解決力を生み出すために、異なる人・組織・セクターの協働を推進する
- D 活動や組織への参加・参画を促進するために、参加せざるを得ない状況づくりを工夫する

①1つ ②2つ ③3つ ④4つ

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 36 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 37】

ボランティアコーディネーションが求められる場に関する次の記述のうち、正しいものはいくつあるか答えなさい。

- A ボランティアコーディネーションは、自治会活動において必要となる場合がある
- B ボランティアコーディネーションは、NPOにおいて必要となる場合がある
- C ボランティアコーディネーションは、自治体において必要となる場合がある
- D ボランティアコーディネーションは、企業において必要となる場合がある

①1つ ②2つ ③3つ ④4つ

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 37 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 38】

ボランティアコーディネーションの実践が求められる分野として、適切なものを選びなさい。

- A 地域福祉
- B 多文化共生
- C 地域スポーツ
- D アート

①ABCD ②ABC ③AB ④A

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 38 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 39】

ボランティアコーディネーションとボランティアコーディネーターに関する以下の記述のうち、間違っているものはいくつあるか答えなさい。

- A ボランティアコーディネーションを行っている人はすべてボランティアコーディネーターである
- B ボランティアコーディネーションを行っている人のうち、仕事として行っている人をボランティアコーディネーターという
- C ボランティアコーディネーションを行っている人のうち、ボランティアセンターで働く人のことをボランティアコーディネーターという
- D ボランティアコーディネーションを行っている人のうち、専任でフルタイム勤務の人のことをボランティアコーディネーターという

① 1 つ ② 2 つ ③ 3 つ ④ 4 つ

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 39 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 40】

文中の空所 (イ) (ロ) (ハ) の中に入る語句として正しい組み合わせのものを 1 つ選びなさい。

ボランティアコーディネーターとは、ボランティア活動を理解してその意義を認め、その活動のプロセスで多様な人や組織が (イ) でつながり、(ロ) を生み出せるように調整することにより、一人ひとりが (ハ) づくりに参加することを可能にするというボランティアコーディネーションの役割を、仕事として担っている人材 (スタッフ) のことをいう。

- | | イ | ロ | ハ |
|---|---------|------|-------|
| A | 上下関係 | 秩序 | 組織 |
| B | 一人のリーダー | 統率力 | 連合体 |
| C | 対等な関係 | 新たな力 | 市民社会 |
| D | 利害関係 | 競争力 | 健全な市場 |

① A ② B ③ C ④ D

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 40 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 41】

「ボランティアコーディネーター」の英語のつづりとして正しいものを 1 つ選びなさい。

- A v o l u n t e e r c o o r d i n a t e r
- B v o l u n t e e r c o o r d i n a t o r
- C v o l u n t e e r k o r d i n a t o r
- D v o l u n t e e r c o r d i n a t a r

① A ② B ③ C ④ D

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 41 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 42】

日本におけるボランティアコーディネーターの状況について、正しいものを 1 つ選びなさい。

- A 戦前に社会福祉協議会がコーディネーター養成講座を実施していた
- B 1970 年代に日本ボランティアコーディネーター協会が誕生した
- C 1980 年代の阪神・淡路大震災によりボランティアコーディネーターの必要性が高まった
- D 1990 年代に全国ボランティアコーディネーター研究集会が始まった

①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 42 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 43】

日本ボランティアコーディネーター協会についての次の記述の中で、正しい組み合わせのものを 1 つ選びなさい。

- A 2001 年に設立された
- B 現役のボランティアコーディネーターによる組織である
- C 保健／医療／福祉分野を範囲としている
- D 特定非営利活動法人の認証を受けている

①A C ②A D ③B C ④B D

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 43 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 44】

ボランティアコーディネーションの視点として適切なものはいくつあるか答えなさい。

- A それぞれの思いを理解した上で、どちらの考え方が正しいかを定める
- B ボランティアの主体性を大切にする
- C 自分だけで解決していこうとする姿勢を育てる
- D ボランティアのニーズだけでなく、利用者や職員のニーズも大切にする

①1 つ ②2 つ ③3 つ ④4 つ

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 44 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 45】

ボランティアコーディネーションの視点として適切なものの組み合わせはどれか答えなさい。

- A 参加者を「お客さん化」しない
- B 「してあげる」-「してもらう」という立場を明確にする
- C 互いに共感できる関係づくりを進める
- D サービス提供者と受益者という関係を大切にする

①A B ②A C ③B C ④C D

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 45 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 46】

日本ボランティアコーディネーター協会が作成した『ボランティアコーディネーター基本指針』の「どのようなボランティアコーディネーションを行うのか」に記載されていないものを 1 つ選びなさい。

- A ボランティアコーディネーター自身がビジョンや社会観を持ち、ボランティアや関係者に対してわかりやすく発信する
- B ボランティアを社会づくりや組織活動・運営の重要な構成員として認識し、活動の企画や実施、評価に参加できるしくみをつくる
- C ボランティアの動機や得意分野にかかわらず、現場のニーズに即応できるように働きかける
- D 困難な課題を社会に開き、多様な人々が出会い、話し合う場をつくることによって、より良い社会の創造に向かう

①A ②B ③C ④D

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 46 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 47】

ボランティアコーディネーターの役割の一つである「受け止める」に関する記述について、適切なものがいくつあるか答えなさい。

- A 外からの働きかけを受けて、それに対応するという意味がある
- B 相談を受け流したり、安易に他へ回したりしないという意味がある
- C 事柄を聞くだけでなく、その背景にある思いをしっかりと聴くことが重要である
- D 相談をしっかりと受け止めるために、対応する範囲をあらかじめ限定しておくことが重要である

①1つ ②2つ ③3つ ④4つ

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 47 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 48】

ボランティアコーディネーターの役割の一つに「つなぐ」というものがあるが、その対象として正しいものはいくつあるか答えなさい。

- A ボランティアとボランティア
- B 地縁型組織と市民有志型組織
- C 職員とボランティア
- D NPOと企業

①1つ ②2つ ③3つ ④4つ

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 48 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 49】

ボランティアコーディネーターの役割の一つである「高める」の内容について、正誤の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

- A ボランティアが活動を開始する前に研修を行う
- B ボランティアの活動終了後に反省会を行う

- ① A も B も正しい
- ② A は正しいが B は正しくない
- ③ B は正しいが A は正しくない
- ④ A も B も正しくない

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 49 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|

【問 50】

ボランティアコーディネーターの役割の一つである「まとめる」に関する記述について、正誤の組み合わせの正しいものを選びなさい。

- A 複数のグループに分かれて行われている様々な活動を、なるべく一種類にまとめていく
- B 相談件数など年間の統計をとり、分析することで、今後の事業活動に活かしていく
- C 相談内容や業務をまとめることで、新たな講座づくりにつなげる
- D 業務をまとめることで、ボランティアコーディネーターの必要性を客観的に示す

- ① $\begin{matrix} A & B & C & D \\ \times & \times & \bigcirc & \bigcirc \end{matrix}$
- ② $\begin{matrix} A & B & C & D \\ \bigcirc & \times & \bigcirc & \times \end{matrix}$
- ③ $\begin{matrix} A & B & C & D \\ \times & \bigcirc & \times & \bigcirc \end{matrix}$
- ④ $\begin{matrix} A & B & C & D \\ \times & \bigcirc & \bigcirc & \bigcirc \end{matrix}$

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| 問 50 の答 | ① | ② | ③ | ④ |
|---------|---|---|---|---|